

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (四国)	-	-	-	-
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・開店する店舗が多く、慶賀用の商品がよく売れた。高額商品の注文も多かった。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・例年、4月は、年度末の駆け込み需要の反動で、売上が落ち込むが、今年は4月の頭から下旬まで、外商は忙しい状態を維持している。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・大型の食品催事のため、来客数が増え、それにつれて売上も向上した。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・前年に開業した大型ショッピングセンターの影響が一巡し、月末は売上が回復傾向となった。高額品が堅調、食品・衣料品も売上トレンドが改善した。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・客数、客単価共に前年を超えている。購入点数も増加している。
		コンビニ（商品担当）	販売量の動き	・例年よりも気温が高い日が多く、冷たい物の販売量が好調になってきている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・今月も天候と気温に比較的恵まれたこともあり、比較的単価の高い商品がよく売れ、売上高は前年に対し、改善した。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月の新車受注状況は、前年比1割程度の増加で推移している。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・新年度入りしてから少し客足が落ちている。県内の受注状況をもみても、前年を割っている。一方で一部の新型車の受注は伸びた。
		旅行代理店（営業担当）	来客数の動き	・瀬戸大橋30周年効果があり、国内旅行の増加、インバウンドも徐々に増加している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・四国八十八箇所参りなどのお遍路さんの仕事が一番多い月で、前年よりは少ないが、3か月前よりはプラスになっている。ただ、天候が良い日が続いたこともあり、前年ほどは乗車いただけていない。また、歓送迎会も余り活発ではないようで、街自体は余り良くないようである。
		通信会社（技術）	販売量の動き	・当社の利益率の高いサービスの販売量が少し増加傾向にある。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・年度が替わり、新入学生等が街へも入ってきているように思う。また、引き続き、大型客船来航などのインバウンドによる来外客がかなりあり、にぎわっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数の動向が3か月前と同様に前年並み推移を示しており、景気が良くも悪くもなく変わらない。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・ここ数か月の株安の動きの中で景気を下支えしている富裕層の消費が委縮しないか懸念していたが、大きな下げはなく、株価も上向いてきていることから、まずは安心してはいる。中所得者層は相変わらず所得が増えないことから消費に前向きになれず、コトへの関心は高いものの財布のひもは固いままである。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・飲食店での酒類の売上は低迷したままで、食事のみで飲む人が減少している。
		百貨店（営業統括担当）	販売量の動き	・高額品の売上が好調なことで、店全体の売上は前年比でプラスとなった。しかし、来客数は前年割れ、また婦人衣料の動きは悪く、購買動向は変化していない。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・過去の競合の出店やドラッグストアでの食品の販売などで客数の状況はほぼ前年を割る状況で継続している。青果物の高騰や加工食品の値上げにより商品の単価が上がっているため売上自体は客数の状況を上回る状態が続いている。
	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・既存店の来客数の前年割れが続いている。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・街中での来客数、販売量の動きなど増えていない。やはり地方の小売に関してはまだまだ景気回復は難しいのではないかと。	
	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・売上は前年並みで推移している。後半は例年以上に気温が上昇し、春物商材の動きが鈍くなってきており、単価の安い夏物に推移しているため伸び悩んでいる。	

	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・業界全体では厳しくなってきたなか、軽自動車は衝突回避支援システム等で安全を重視する動きに加え、新型車を投入したメーカーがあるなど購買意欲が増しており、当社も相乗効果で前年比を上回る状況が続いている。
	その他専門店 〔酒〕(経営者)	競争相手の様子	・同業者との価格の統一ができていないということで、余り売れない。
	その他小売 〔ショッピングセンター〕(副支配人)	お客様の様子	・サービス等の動きは良いのだが、衣料品等の動きが良くない。
	観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・観光などに対する消費が増えず、売上が伸びていない。
	都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・若干、来客数は増えてきていると思うが、やはり単価が伸び悩んでいる。
	通信会社(支店長)	販売量の動き	・新年度となったが、特に大きな変化は見られない。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・特に変わらない。
	商店街(代表者)	それ以外	・地方都市や自治体の存続維持のために叫ばれてきたコンパクトシティという街づくりの構想が、殊に自治体の極度な認識不足で全く進んでいないどころか、今もって街づくり三法を無視した形で郊外に拡大を続けている。その大きなツゲが徐々に表面化し、中心街を一層疲弊させ、自治体の財政窮乏につながった。
	コンビニ(総務)	来客数の動き	・客数の前年割れの度合いが悪化してきている。
	家電量販店(副店長)	来客数の動き	・新入学、新社会人等の需要も終わり、今月は客数が前年を下回っている。販売単価については前年比104%で推移している状況である。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今年に入って外国客船の入港が多いが、観光コースにはバスの利用度が多く、タクシーの利用度は1割程度で少ない。また、夜の新入社員の歓迎会等の数も減っている。
	通信会社(営業部長)	販売量の動き	・販売量が3か月前と比較して約10%減っている。
	競輪競馬(マネージャー)	販売量の動き	・1月と比べ全体的に売上が1割以上減少している。
	x コンビニ(店長)	来客数の動き	・来店客数減少で売上也減少し、回復の気配がない。ゴールデンウィークでも改善がみられない状況である。
企業 動向 関連 (四国)	食料品製造業 (商品統括)	受注価格や販売価格の動き	・食品価格の上昇に対し、一定の理解がされつつあり、販売量に大きな影響が出ていない。
	鉄鋼業(総務部長)	受注量や販売量の動き	・主力造船関連の受注が増加している。
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・固定価格買取制度による売電価格が下落したものの、農業関係や森林関係などの業者から、太陽光関係の受注が増加した。
	輸送業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・単価は維持しており安定している。
	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・12月は寒波の影響もあったようで、小売店の売上が厳しく、当社にとっても前年比の売上が減少した。3月後半から春の陽気が戻り、小売店の売上状況も好転している。地方は相変わらず厳しい様子であるが、都市部では大手企業の業績が堅調であることと、訪日観光客が増加していることなど、全体としては好況感を感じられる。
	木材木製品製造業(資材購買)	受注量や販売量の動き	・単月の実績は前年同月比を若干下回っているが悪くない。
	パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・前月よりは少し悪いが、ほぼ計画どおりくらいには売上ができると予想する。
	電気機械器具製造業(経理)	受注量や販売量の動き	・製品の出荷量について、品目ごとに多少の増減はあるものの、出荷総量において大きな変動は認められない。
	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・一時、受注が例年より多かったが、また例年並みに戻ってしまった。

	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・年度が改まり、前年度の売上が例年並みで、入金も例年どおりである。2か年業務が増えたため、手持ち業務も抱えているなど、ここ数年間の安定化が、数値よりもむしろ精神的な効果が大きく、景気はやや良い状況にあるといえる。加えて、業界全体で人員の採用意欲は依然、旺盛であることや賃金のアップも好景気を後押ししている。
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・引越繁忙期も終了し、夏場の飲料系が盛況になるまでの谷間の状況下にある。
	輸送業（営業）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料油の高騰や労働力不足を受け地元同業者各社が運賃値上げで活発な動きを見せるなか、資金面で地元中小企業に比べ余力のある大手業者の出先営業所については動きが鈍い。これは景気が低迷するなか、地方圏において取り扱う発送の物量には限りがあり、運賃値上げを行えば取扱物量が目減りしトラックの積載効率が低下することを危惧しての流れがある可能性がある。
	金融業（副支店長）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先の月別売上状況より、3か月前比では著変なく感じる。
	公認会計士	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・各関与先企業の決算書、試算表等を比較すると、ほぼ3か月前と変わりがない状況が続いているといえる。したがって、景気は変わりがないと回答した。
	農林水産業（職員）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売会社の29年度決算は総じて前年割れとなり、その多くが前年比93～98%である。要因は、取扱高や利益率の低下が激しい点だ。単年度で終わればよいが、今後も続くようなら、経営的にも厳しくなる会社が増えそうな勢いである。
	x	-	-
雇用 関連		-	-
(四国)	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・コールセンターを中心とした企業群の増員が活況している。
	人材派遣会社（営業）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・4月より企業主導型保育事業を始めた保育園が増えており、女性の活躍できる機会も広がっている。特に女性求職者の可能性が広がっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで申込みのなかった企業から求人が出始めている。
	求人情報誌（営業）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度が始まったが、求人関係は人手不足が続いたまま、企業の採用人数が高止まりしている。
	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・介護従事者の充足が急務であるといわれているが、それに反して、担当施設における切迫感はない。やはり、地方においては、働く環境が恵まれていないという事情もある。
	職業安定所（職員）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の有効求人倍率は1.57倍だが、3か月前と比べて、0.03ポイント減少しているので、「やや悪くなっている」と判断した。
	x	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き